

平成24年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	水道施設整備費補助（耐震化関連事業）		担当部局庁	健康局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	簡易水道等施設整備費（昭和27年度） 水道水源開発等施設整備費（昭和42年度）		担当課室	水道課		水道課長 石飛 博之		
会計区分	東日本大震災復興特別会計（H24～）		施策名	IV 4 2 安全で質が高く災害に強い水道を確保する。				
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	水道法第44条		関係する計画、 通知等	—				
事業の目的 (目指す姿を 簡潔に。3行程 度以内)	東日本大震災を教訓として、大規模地震(東海地震や東南海・南海地震等)の切迫性が高い地域などにおいて地方公共団体が実施する水道施設の耐震化を促進し、安全で質が高く災害に強い水道を確保する。							
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	地方公共団体が施行する水道施設の耐震化に必要な事業費の一部補助 ①簡易水道等施設整備費補助(補助率:4/10,1/3,1/4)…布設条件の特に厳しい農山漁村における簡易水道の耐震化関連事業 ②水道水源開発等施設整備費補助(補助率:1/2,1/3,1/4,定額)…老朽管の更新、基幹水道構造物の耐震化、老朽管更新など水道施設耐震化事業							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・ 執行額 (単位:百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求		
	予算 の 状 況	当初予算				17,566	25,575	
		補正予算						
		繰越し等						
		計				17,566	25,575	
	執行額							
執行率(%)								
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (25年度)
	基幹管路の耐震化適合率		成果実績	%	—	—	—	100
			達成度	%	—	—	—	
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	補助採択件数		活動実績 (当初見込み)	件	— (—)	— (—)	— (—)	— (413)
			算出根拠	予算額/補助採択予定件数				
単当たり コスト	43(百万円/件)							
平成24・ 25年度 予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	簡易水道等施設整備費補助	4,089	6,876					
	水道水源開発等施設整備費補助	13,477	18,699					
計	17,566	25,575						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	安全で質の高い水道を確保するため、水道施設の耐震化関連事業を行うことは広く国民のニーズがあり、優先度が高い。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	安全で質の高い水道を確保するための水道施設の耐震化関連事業を行うことは、全国一律の基準で国が実施すべき事業である。
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	—	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	—	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	—	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	—	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	—	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	類似の事業(地域)を他省庁にて計上しているが、適切な役割分担となっている。
	○	※類似事業名とその所管部局・府省名 右記のとおり	国土交通省:水道施設整備費補助(北海道開発事業費) 国土交通省:水道施設整備費補助(離島振興事業費) 国土交通省:水道水源開発施設整備費補助(水資源開発事業費) 内閣府:水道施設整備費補助(沖縄開発事業費)
—	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		
点検結果	水道施設整備費補助(耐震化関連事業)については、水道法に基づく必要な事業であり、大規模災害時にあっても水道水を安定供給するためのライフラインである水道施設の耐震化は、全国的に緊急に実施する必要性が高い事業である。		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	本事業は、東日本大震災を教訓として、大規模地震の切迫性が高い地域などにおいて地方公共団体が実施する水道施設の耐震化を促進するために必要な経費であり、事業目的の妥当性や重要性の観点から優先度が高い事業である。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
現状通り	—		
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
<事業仕分け第1弾～第3弾の別> 事業仕分け第1弾 <事業番号・事業名> 事業番号1-14 水道施設整備事業 <WGの評価結果> 予算要求の縮減(10%～20%) <とりまとめコメント> それぞれの地方公共団体が行う水道事業について、格差是正や耐震化を進めるために国で補助を行うことについては必要であると評価する。ただし、補助の出し方として水道料金が平均を上回るところをすべて対象とするのはいかがなものか。当ワーキングでは、メリハリをつけて見直しを行うことによりコスト減を図ることとし、10～20%予算要求の縮減を行うことを結論とする。			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	—	平成23年行政事業レビュー	—

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロッ
 クごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0.0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					